

女性の就労・スキルアップ促進プロジェクト事業【神戸市】

個別事業費	13,881 千円
交付金額	4,500 千円

地域の実情と課題

- 神戸市は、女性の就業率（令和2年国勢調査）が政令市の中で下から3番目と低い。
- 女性が多様な働き方を実現するためのスキルアップ支援などソフト面の取り組みやハード整備が不足している。

事業の特徴

- 女性の多様な働き方を支援するため、子どもと一緒に利用できる託児付きサテライトオフィス（コワーキングスペース）を開設。
- 女性のスキルアップや、就労・再就職に向けた勉強や準備ができる場を無料で提供し、仕事と子育ての両立を支援。

事業の効果

- コワーキングスペースの利用者増や、郊外地域への増設の希望を受け、市西部地域に新たに同様のコワーキングスペースを増設。
- 利用者は着実に伸びており、働く女性を応援する施設としての役割を果たせた。

目的・目標

- 託児付きコワーキングスペースを運営し、女性のスキルアップや就労・再就職の支援と、利用者同士の交流・コミュニティづくりを支援。
- ＜数値目標＞コワーキングスペース利用者数
利用者数 4,000人→令和6年度実績: 7,306人

連携団体

神戸商工会議所や経済団体、兵庫県経営者協会、兵庫県、マザーズハローワーク

今後の課題

- コワーキングスペースの利用者増に向けた広報・周知を進めるとともに、利用者ニーズの高い託児サービスの拡充を検討する。
- 利用状況や利用者ニーズも踏まえ、さらなる増設の検討を行う。

託児付きコワーキングの拡充・運営

あすてっぷコワーキング

- ・女性の多様な働き方やキャリアアップを応援する、無料の託児付きコワーキングを運営。
- ・無料の一時保育サービスや、パソコンの無料貸出、コミュニティマネジャーによる利用者同士の交流や情報共有、コミュニティ形成を行った。
- ・女性のスキルアップや、就労・再就職に向けた勉強や準備ができる場を無料で提供し、仕事と子育ての両立支援及び女性同士の情報交換・交流の場を創出した。



コワーキングスペース



キッズスペース



一時保育

<令和6年度拡充>

- ・利用者増による一時保育サービスのニーズの高まりや、コワーキング増設の要望を受け、令和6年8月に市西部に「あすてっぷコワーキング学園都市」を開設。
- ・また、市男女共同参画センター内の「あすてっぷコワーキングこうべ」の開館日数を増やした。
(休館日であった月曜日の開館)



あすてっぷコワーキング学園都市(R6.8)